編集後記

編集責任者として、教育学研究科の学術機関誌として新たなスタートを切った『教育デザイン研究』第７号を、みなさまにお届けできることを大変喜ばしく思います。巻末に掲載の、昨年度、新しく策定された「発行に関する規則」と「投稿要領」をご参照下さい。これらの新しい規定に基づき、本号より本研究科の在学生及び修了生に、研究論文の積極的な投稿を呼びかけることになりました。投稿論文を受け付ける編集委員会の組織と役割も新たに規定され、さらに、別途に作成された内規により投稿論文の厳格な審査手続きについても定められています。また、上記の「発行に関する規則」では、本誌の発行目的として地域教育への貢献が冒頭に謳われており、神奈川県内の学校及び教育機関との連携の媒体としての役割も、今後いっそう期待されることになりました。

投稿論文の募集については、4 月初めに本研究科のホーム・ページに掲載するとともに、各領域・専修の大学院運営委員を通じて在学生及び修了生に広く周知していただきました。募集開始時には、どれほどの数の投稿申し込みがあるのか不安もありましたが、予想を大きく上回る 14 本もの投稿があり、厳しい審査を経て 14 本すべての論文が掲載されることになりました。第一次審査では、多くの投稿論文に修正要求がつき、二次審査が必要となりましたが、審査を担当された本研究科教員による厳しいながらも、温かいご教示の甲斐あって、最後にはどれもが学術的レベルの高い論文に仕上がったようです。これらの掲載論文によって、本研究科の学生及び修了生の、実践的研究の基礎力の高さも証明されたのではないかと思われます。また、本号には、神奈川県教育委員会教育局の笠原陽子氏によりインクルーシブな学校創りのための多様な人材育成としての教員養成のあり方について、そして、県立総合教育センターの北村公一氏より現職教育における地域の教育機関と大学の連携のあり方について、それぞれの専門的立場から貴重な提言を寄稿していただきました。本誌の発行が、今後も本研究科における教育・研究活動の活性化に貢献するとともに、地域教育の発展に寄与していくことを願ってやみません。

他方で、審査の手続き等についてはすべてが支障なく進んだとは言えず、編集委員会では次号の発行に向けてさまざまな改善のための検討を継続していきます。最後になりましたが、本号発行に協力していただいた本研究科の教員のみなさん、とくに投稿論文の査読を引き受けていただいた先生方、投稿者との仲介役として何度も労をとっていただいた運営委員の方々にこの場を借りてお礼を申し上げます。

（棚橋信明）

教育デザイン研究　第７号

２０１６年１月31日　発行

発　　行　　横浜国立大学大学院　教育学研究科
〒240-8501　横浜市保土ヶ谷区常盤台７９－２
電話　０４５－３３９－３２５７（問合せ先）
e メール　e-design@ynu.ac.jp

制作・印刷製本　株式会社 M’s クリエイト
〒226-0018　横浜市緑区長津田みなみ台７－１５－１０

ＩＳＳＮ　1884-7285